



# 奈良県感染症情報

令和4年 第6週(2月7日～2月13日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 小児科外来情報

## ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	3.82	(5.38)	↘	↘	↘	↘
2	突発性発しん	0.21	(0.41)	↘	↓	→	→
3	RSウイルス感染症	0.18	(0.24)	→	↓	→	↓
4	水痘	0.12	(0.03)	↑↑	↑↑	↑↑	↓
5	A群溶連菌咽頭炎	0.09	(0.09)	↓	↓	↓	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

## ◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第6週の新型コロナウイルス新規感染者数は7672名と、第5週の6498名より増加しています。

昨年 of 年末以降、オミクロン株による感染が広がっています。

ウイルスとの戦いは、正しい情報(エビデンス)に基づいて、冷静に対処することが何よりも重要です。

県では、医療機関や市町村との情報共有を図り、関係機関との連携のもとに新型コロナウイルス感染症対策を推進していきます。

引き続き、県民の命を守る「医療提供体制を堅持」とともに、「3回目のワクチン接種を迅速に進める」ことにより、感染の拡大に対処します。

県民のみなさまには、「適切な感染防止」を心がけ、「日常生活を維持」していただくようお願いします。

## ❖ 小児科外来情報 ❖

### 北部地区(田中小児科医院)

少ないが感染性胃腸炎があり、1例はカンピロバクタ腸炎があった。

濃厚接種者でない園児や学童でCOVID-19の陽性例が目立つようになった。検査を実施しないと診断できない。幸いに軽症で経過している模様。

細菌性髄膜炎があった。

### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は少ない。軽症経過の感染性腸炎が流行。

Covid19陽性例が散見される。他の登録疾患はなかった。

### 南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

COVID-19感染症が急増している。小児では普通感冒と臨床的な違いはあまりなく、また花粉症との鑑別も必要である。

RSウイルス感染は散見されるもインフルエンザの流行はみられない。ノロウイルスを含めたウイルス性胃腸炎の流行は続いている。

### 家族が新型コロナウイルスに感染した時に注意したいこと

#### 1. 部屋を分ける

個室にしましょう! 部屋を分けられない場合は、2m以上の距離を保ったり、仕切りやカーテンの設置などをおすすめします。

#### 2. 窓を開けて換気

定期的に換気しましょう。共用スペースや他の部屋も窓を開けっ放しにするなど換気しましょう。

#### 3. マスクを着用

マスクを顔周なくズレたり落とすは、正しく着用しましょう。外す時は表面に触れないように紐部分を持ち、外した後は手洗い。

#### 4. こまめな手洗い

手で触れる部分を消毒

こまめに石鹸で手洗いし、アルコール消毒しましょう。ドアの取っ手、ベッド欄、トイレ、洗面台など共用部分を消毒しましょう。

#### 5. 汚れたリネン・洋服を洗濯

汚れた衣服やリネン、手袋とマスクを着用し、一般的な家庭用洗剤で洗濯し、完全に乾かしてください。

#### 6. ゴミは密閉して捨てましょう

鼻をかんだティッシュ等は、すぐビニール袋に入れ、室外に出すときは密閉して捨ててください。手洗いも忘れず!

☑お世話は出来る限り、限られた方に対応しましょう。  
 心臓、肺、肝臓に持病のある方、糖尿病の方、免疫の低下した方、妊婦の方などが感染者のお世話をすることは避けて下さい。  
 ☑療養者は外出を避けて下さい。療養期間中は感染を広げてしまう可能性があります。  
 ☑ご家族、同居されている方も熱を測るなど健康観察を。  
 外出は避け、体調不良時は、登校や出勤をお控えください。

ゼロ密を目指す、こまめな手洗い、正しいマスクの着用を徹底しましょう

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 4 年 第 6 週 2 月 7 日 ~ 13 日

保健所別報告数	奈良県	北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野	
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	0	6
インフルエンザ							
小児科定点数	34	9	9	7	6	0	3
RSウイルス感染症	6 (0.18)				6 (1.00)		
咽頭結膜熱	1 (0.03)			1 (0.14)			
A群溶連菌咽頭炎	3 (0.09)	1 (0.11)		1 (0.14)	1 (0.17)		
感染性胃腸炎	130 (3.82)	34 (3.78)	31 (3.44)	15 (2.14)	47 (7.83)		3 (1.00)
水痘	4 (0.12)	3 (0.33)			1 (0.17)		
手足口病	2 (0.06)	2 (0.22)					
伝染性紅斑	1 (0.03)	1 (0.11)					
突発性発しん	7 (0.21)	2 (0.22)		3 (0.43)	1 (0.17)		1 (0.33)
ヘルパンギーナ							
流行性耳下腺炎							
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0
急性出血性結膜炎							
流行性角結膜炎	1 (0.10)		1 (0.33)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1
細菌性髄膜炎							
無菌性髄膜炎							
マイコプラズマ肺炎							
クラミジア肺炎							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(郡山3)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2件(奈良市1、郡山1) 水痘(入院例に限る。)1件(中和1) 梅毒1件(中和1)

❖ 第6週のトピックス ❖

◆国内のオミクロン株の分子疫学調査(国立感染症研究所)  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2551-cepr/10962-omi-genome.html>

◆(2022年2月版)新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する11の知識(厚生労働省)  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000788485.pdf>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。  
 旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数  
 (下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男女																							
RSウイルス感染症	男女			2	1																	3	14	
咽頭結膜熱	男女				1																	1	18	
A群溶連菌咽頭炎	男女				1																	1	43	
感染性胃腸炎	男女	1	5	17	5	10	6	3	5	3	1	4	4	2	5							71	659	
水痘	男女		1									1	2		11							59	614	
手足口病	男女				1																	1	25	
伝染性紅斑	男女				1					1												1	1	
突発性発しん	男女		2	2	1																	3	25	
ヘルパンギーナ	男女																					4	26	
流行性耳下腺炎	男女																						3	
急性出血性結膜炎	男女																							
流行性角結膜炎	男女				1																	1	6	
細菌性髄膜炎	男女																							
無菌性髄膜炎	男女																							
マイコプラズマ肺炎	男女																						1	
クラミジア肺炎	男女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																							

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ R4 ▲ R3 □ R2 〰 過去10年平均

